

事業スクラップ研修

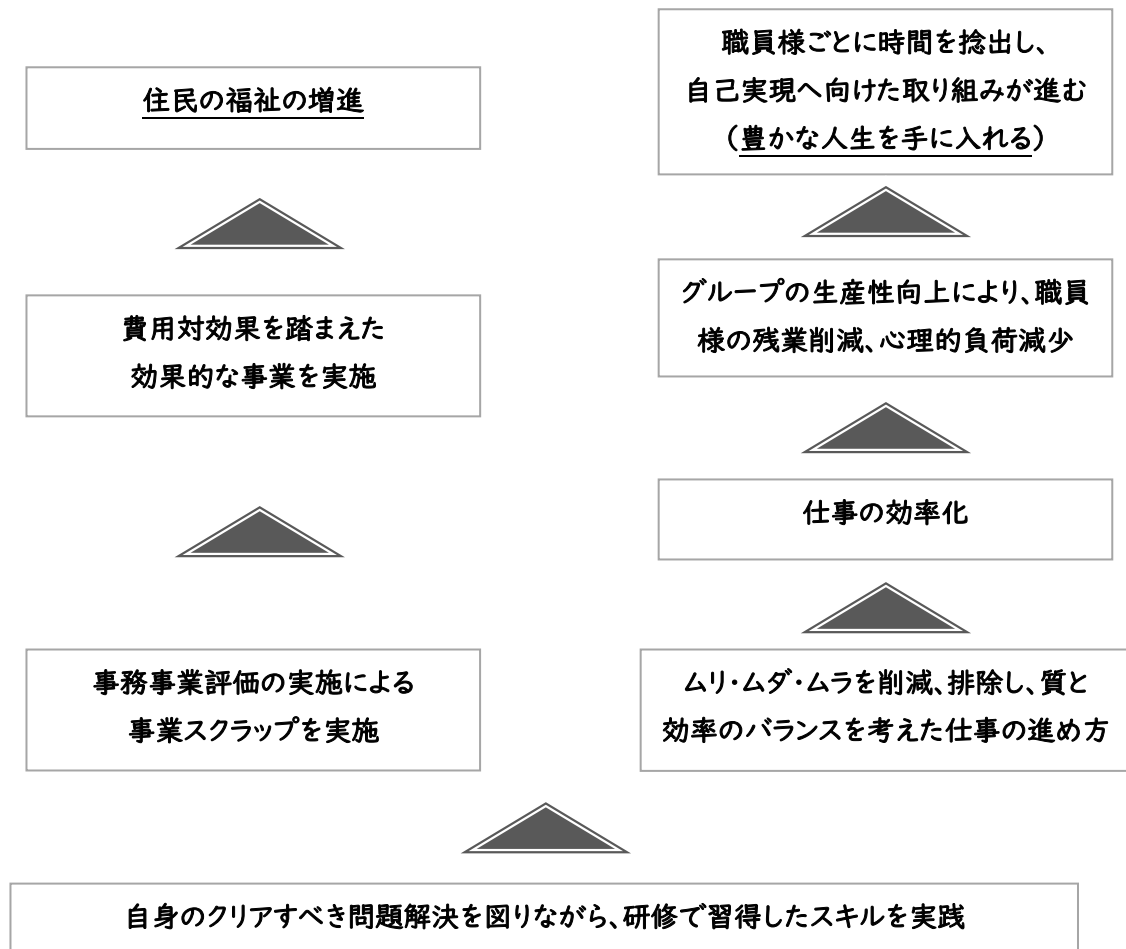
対象者: 中堅職員～管理・監督者

1. 研修の目的と全体像

管理者および事業推進者に期待される役割と資源の再配分・有効活用のために事業の廃止や見直しの手法を学ぶ

2. 研修の構成

【研修終了後イメージ】



【研修内イメージ】

座学&個人ワーク



下記ワークであぶり出した問題意識への解決策と各テーマに必要なノウハウを体系的に学んでいただきます。

問題意識の明確化
(グループワーク)



『事業スクラップ』を進めていくうえで、各人が抱く問題を明確にします。問題意識を具体的に持って頂くことで、研修で解決すべき要素が明確になるので、参加意識が向上し、研修効果が最大化されます。

2. 研修内容

PW=個人ワーク GW=グループワーク

| | 内容 | 詳細、得たい成果 |
|-------|---|--|
| 9:00 | <p>I. 研修の目的と全体像</p> <p>II. 事業スクラップの目的</p> <p>III. 問題意識の具現化 (GW)</p> <p>1. テーマ 事業スクラップの実行にはどのような壁があるか</p> <p>2. 進め方 (1) 個人で考える (2) グループワーク (3) 発表</p> <p>IV. 事業スクラップが求められる背景</p> <p>1. 厳しい財政運営における必然 2. 職員の疲弊</p> <p>V. これからの地方自治体に必要な取り組み</p> <p>1. 最小のコストで最大の効果という考え方をシフトさせる 2. 最小のコストで期待される効果を出す</p> <p>VI. 生産性向上</p> <p>1. 生産性とは何か 2. 成果と効果の違い</p> <p>VII. 他自治体における事例紹介 (座学)</p> <p>VIII. 事業スクラップにおける4つの阻害要因 (座学)</p> <p>第1の視点 100%ムダ以外は必要とする考え方 第2の視点 次年度予算を確保するための動きがある 第3の視点 提案側のモチベーション低下 第4の視点 事業評価に必要な知識技術不足</p> <p>IX. 事業スクラップの実施方法</p> <p>(1) 行政事業の洗い出し (2) 事業評価項目の決定 (3) 事業評価項目に基づいた評価実施 —判断基準の見える化—</p> <p>① 一次評価(内部評価) ② 二次評価(外部評価) ③ 総合評価(内部評価)</p> <p>(4) 評価完了後のイメージ ① 評価概要一覧 ② 事務事業評価シート</p> <p>(5) スケジュールリング例 (6) 考慮すべき評価エラー</p> | <p>● 研修への問題意識を具体的に持って頂くために左記テーマにてグループワークを実施します。</p> <p>● 事業スクラップが必要とされる背景、キーワードとなる生産性向上の正しい意味の理解など、必要な知識を確認していきます。</p> <p>● 事業スクラップについて、その必要性を認識したうえで、具体的な実践方法を学びます。評価完了後のイメージとして、①評価概要一覧、②事務事業評価シートの2シートのサンプルをご確認頂きます。最終イメージを具体的に見て頂くことで、そのプロセスにおいてもより一層明確にイメージして頂けると考えます。最後に、各受講者様にて、関係する事業の1次評価をシミュレーションして頂き、より習得度の向上を図ります。</p> |
| 16:30 | <p>(7) 1次評価シミュレーション (PW)</p> | |